

## 平成 20 年度 家庭医実習を終えて (Post Report)

5-53 北澤征三

実習期間 平成 20 年 6 月 2 日~6 月 6 日

実習先医院名 医療法人社団青い鳥会 上田クリニック

今回 5 日間実習をさせてもらい、開業医というものには 2 種類あるということを知った。それは Common diseases を診療し、診療不可能な病気の患者さんを総合病院に送ることを中心に行っている病院と、今回実習させてもらった上田クリニックのように、総合病院での一通りの治療を終え在宅療法となった患者さんを定期的に診る病院とである。

在宅診療は総合病院での入院医療とは異なり、薬や手術での劇的な治療をするのではなく、現在感じているストレスをどのように取り除き、快適な生活を送るかに重点を置いており、患者さんの意思を最大限に尊重しながら治療をおこなっていた。

また病院内とは違い 24 時間医師や看護師がすぐ来てくれる状態ではない、介護ベッドを初めとする病院では当たり前のようにあるものがない環境といった中で医師や訪問看護師、介護士やケアマネージャーなどの介護関係者がチームとなって医療を行い互いに情報を交換することで、医師や看護師が毎日来ることができない状況をカバーしていることがうかがえた。

今まで大学病院内でのみ実習してきたので、今回の実習で在宅診療と入院診療の違いを実際目にする事ができた。これから高齢化社会となる一方病院の病床数を減らす方向に進んでいる現在では、このように入院できない患者さんを診る医師が増えていかなければいけないし、退院させる病院側もどのような手順で在宅診療の環境を整えているのか理解しておかないと、不完全なまま在宅診療を行うことになり、在宅診療を行うに当たって非効率的になってしまい結局は患者さんに不利益になってしまうと思う。また在宅診療を行ううえで欠かせないものである介護をしてくれるホームヘルパーへの対応も軽視されがちな事も問題点としてあげられる。ホームヘルパーも患者さんにとっては欠かせない存在であることを認識し、患者さんのためにも少しでも早急に改善すべきである。最後に忙しい中実習として丁寧に指導して下さった斉藤先生をはじめ上田クリニックスタッフの方々本当にありがとうございました。